

設計・計画部門

あか がわ き よ と
赤川 貴世友

生年月日 1980年1月大阪府生まれ
最終学歴 2005年京都工芸繊維大学
大学院 工芸科学研究科
デザイン経営工学専攻
業務経歴 2008年㈱安井建築設計事
務所入社／現在、大阪事務
所設計部インテリア主任

●担当した主なプロジェクト

2008年 三井住友銀行天神町支店
2009年 近畿大学食堂棟
2012年 ANA LOUNGE 伊丹(改修)
2013年 兵庫県立淡路医療センター
2014年 市民交流プラザふくちやま

●受賞

近畿大学食堂棟「BLOSSOM CAFE」
平成23年度日時連建築賞
ANA LOUNGE伊丹
平成24年度照明普及賞
市民交流プラザふくちやま
平成26年度照明普及賞
兵庫県立淡路医療センター
日本建築学会2015作品選集
松屋町の長屋ビル改修プロジェクト
住まいのリフォームリノベーション
コンクール 大阪府知事賞

■青年技術者のことば

組織設計事務所のインテリア設計は、その範囲が捉えにくい一面がある。一般的には、インテリアエレメント（内装・照明・家具・サイン・アート等）そのもののデザインと捉われがちであるが、自分自身の約10年の仕事を振り返り、次第にはっきりと見えてきたこの命題に対する答えとして以下に整理した。このマインドを常に忘れず、大切に、これからの仕事にも取り組んでいきたい。

私たちは内部から空間をつくります。建物を利用する人々の動きと感覚を大切にします。建築主との親密なコミュニケーションを通し、建物を利用する人々の姿や、さらには社会と時代を見つめます。人々に身近な家具・内装・照明などから空間へ、建物全体へとデザインを発展させます。建築とその内部に緻密な機能を持たせるインテリアに主眼を置き、快適な空間づくりを目指します。

■すいせん者

寺岡宏治
㈱安井建築設計事務所
常務執行役員 大阪事務所長



兵庫県立淡路医療センター

本施設は、旧鐘淵紡績洲本工場があった区域の一部にある。その工場群が赤レンガを利用した建物であったことから、周辺施設も赤レンガを基調とするなど、地域一帯で歴史を継承する景観を色濃く残している。そうした地域環境の中で淡路地域の中核病院を目指すコンセプトのもと、「時間の流れ、人、場所への想いが“つむぐ・つづく・つなぐ”」をテーマに「歴史ある景観の継承と地域のシンボルの創出」、「人に優しい内装・家具・サイン計画」を意識して取り組んだ。



市民交流プラザふくちやま

JR福知山駅前に計画された図書館と生涯学習機能の複合公共施設である。駅前立地を活かし市民の活動を促わせ・発信する「駅前大型モニター」として開放的な外観とするコンセプトを受け、内部を書架からの間接照明等を用いて演出し、街に対してあたたかい情景をつくり出した。また、Rの端部コーナーは建物から家具・サインに至るまで、学びと集いのゲートとして徹底してデザインに取り入れ、親しみやすい施設づくりを行なった。



松屋町の長屋ビル改修プロジェクト ～積層する町屋～（自邸）

自身が施主・設計者として、大阪市内の大通りに面する築28年の鉄骨造5階建て、2軒長屋ビル半分の改修に取り組んだ。インテリア設計者として既存の建築ストックを活用すること、家族のライフスタイルを考慮して、都心部居住の可能性を模索した。